

I 財政状況

1 決算収支の状況

- (1) 決算収支
- (2) 歳入決算規模
- (3) 歳出決算規模

(1) 決算収支

(単位：百万円)

		平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度
歳入決算額	A	29,612	31,136	33,604	34,486	31,457	37,092	34,491	34,537	32,150	34,627
歳出決算額	B	28,608	30,081	32,549	33,492	30,506	36,288	33,758	33,886	31,383	33,681
形式収支 (A-B)	C	1,004	1,055	1,055	994	951	804	733	651	767	946
翌年度へ繰り 越すべき財源	D	313	395	408	382	205	147	92	85	31	147
実質収支 (C-D)	E	691	660	647	612	746	657	641	566	736	799
単年度収支 (E-前年度実質収支)	F	21	△31	△13	△35	134	△89	△16	△75	170	63
積立金	G	313	637	87	112	98	134	86	90	4	113
繰上償還額	H	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
積立金取崩額	I	33	2	298	199	26	200	650	620	25	9
実質単年度収支 (F+G+H-I)	J	301	604	△224	△122	206	△155	△580	△605	149	167

傾向分析

歳入・歳出決算額は、人口増に伴い概ね増加傾向にありますが、普通建設事業の影響を受けて増となることもあります。平成26年度は南山小学校の建設に伴い大幅な増となりました。

形式収支については6～10億円程度、実質収支については6～8億円程度で推移しています。また、実質単年度収支については、6億円の赤字から6億円の黒字の間で推移していますが、この収支は、基金の積立てなどの黒字要因、基金の取崩しなどの赤字要因となる措置をしなかった場合、単年度収支がどのような額になるかを示したもので、財政状況をみる上で、実質収支とあわせてみる必要があります。

実質収支比率は、財政規模に対する収支の割合を示しており、平成30年度は4.6%の黒字となっています。

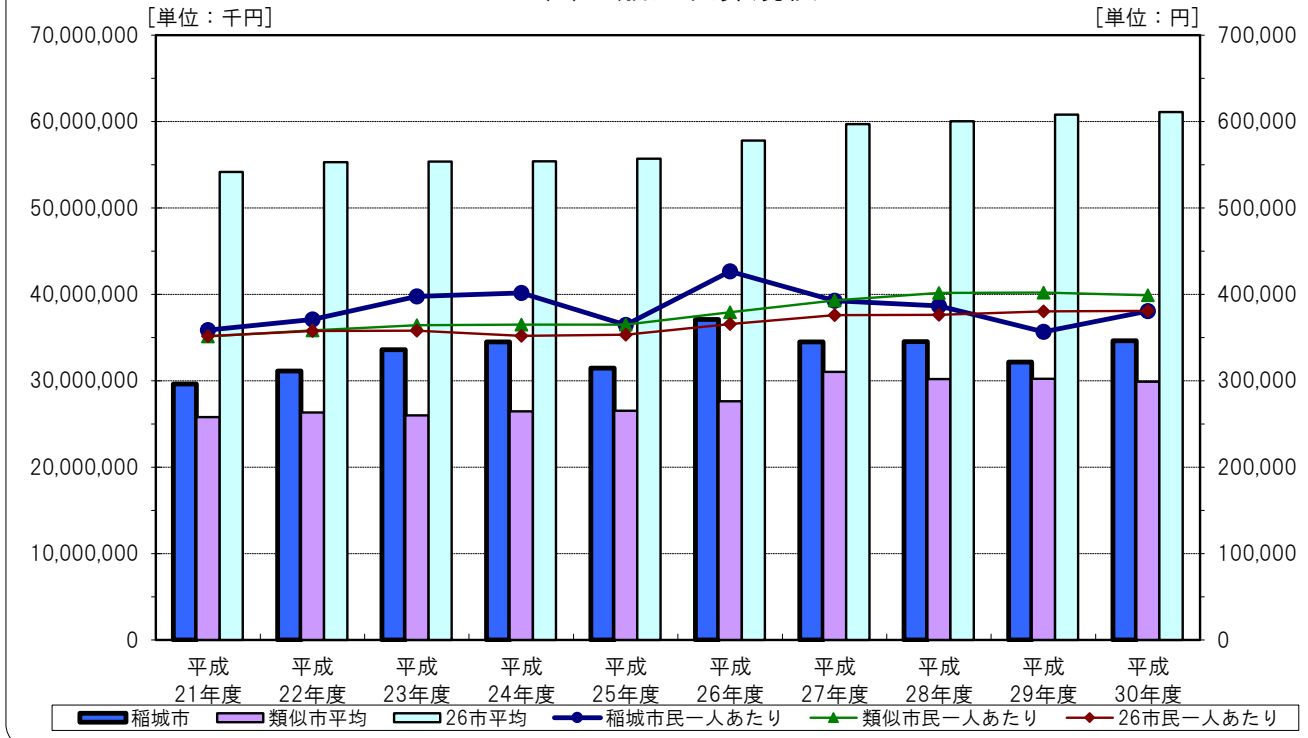
【参考：実質収支比率の算式】

$$\frac{\text{実質収支 (E)}}{\text{標準財政規模} + \text{臨時財政対策債発行可能額}} \times 100 (\%)$$

平成30年度決算26市比較データ 実質収支比率（抜粋）

No.1. 立川市	9.2%
No.2. 昭島市	8.9%
No.3. 東大和市[類似市]	8.7%
No.13. 清瀬市[類似市]	5.5%
No.18. 稲城市	4.6%
No.19. 国立市[類似市]	3.9%
No.20. 福生市[類似市]	3.8%
No.25. 町田市	3.0%
No.26. あきる野市[類似市]	1.9%

(2) 歳入決算規模



(単位：千円、円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
稲城市	29,611,586	31,135,509	33,603,714	34,485,823	31,457,126	37,092,369	34,490,686	34,537,388	32,149,998	34,626,957
市民一人あたり	358,741	371,089	397,668	401,741	364,644	426,594	392,707	386,566	356,632	380,788
類似市平均	25,789,474	26,333,012	25,988,411	26,465,216	26,541,610	27,637,562	31,028,007	30,198,056	30,224,573	29,909,185
市民一人あたり	351,303	358,419	364,300	364,886	365,019	379,371	392,894	401,677	402,094	399,066
26市平均	54,162,466	55,288,374	55,383,591	55,385,853	55,713,869	57,805,061	59,688,053	60,025,909	60,794,005	61,115,724
市民一人あたり	351,702	357,775	358,071	352,126	353,362	365,496	375,846	376,317	380,138	380,914

傾向分析

歳入総額及び市民一人あたり額の26市平均は、増加傾向にあります。

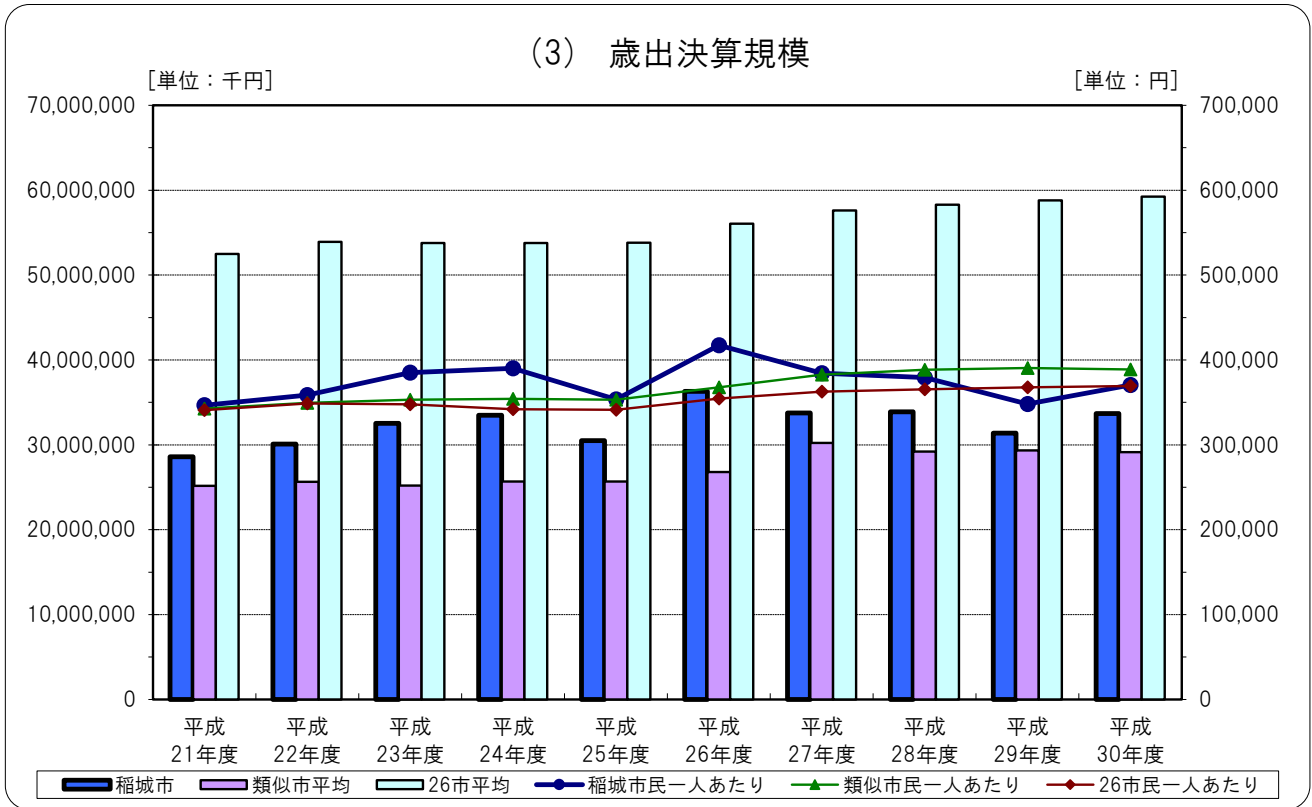
稲城市は、普通建設事業の実施状況によって国庫支出金、都支出金、市債などが大幅に増減しているため、年度によるバラつきが見られます。平成26年度は、南山小学校の建設事業に係る補助金や市債の収入があったため、大幅な増となりました。

平成30年度は、第三中学校校舎大規模改修等事業債や第一調理場用地買収事業債などの市債、市町村総合交付金や多3・4・12号読売ランド線受託事業収入などの都支出金、地方税の増などにより、前年度比2,476,959千円(7.7%)の増、市民一人あたり額24,156円(6.8%)の増となっています。

平成30年度決算26市比較データ 市民一人あたり額(抜粋)

No.1. 武蔵野市	453,332円
No.2. 福生市[類似市]	430,370円
No.5. 国立市[類似市]	416,232円
No.6. 清瀬市[類似市]	415,250円
No.13. 稲城市	380,788円
No.15. 東大和市[類似市]	379,887円
No.22. あきる野市[類似市]	365,720円
No.25. 八王子市	357,313円
No.26. 小平市	342,530円

(3) 歳出決算規模



(単位：千円、円)

	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度
稲城市	28,608,306	30,080,806	32,548,785	33,492,126	30,506,111	36,287,991	33,757,626	33,886,137	31,382,711	33,680,890
市民一人 あたり	346,587	358,519	385,184	390,165	353,620	417,343	384,361	379,277	348,120	370,384
類似市平均	25,159,650	25,660,890	25,193,362	25,694,961	25,678,190	26,793,187	30,226,622	29,213,581	29,356,692	29,144,947
市民一人 あたり	342,723	349,270	353,155	354,267	353,144	367,781	382,746	388,582	390,548	388,869
26市平均	52,498,227	53,910,102	53,785,288	53,794,131	53,825,927	56,068,833	57,609,646	58,281,669	58,804,142	59,257,965
市民一人 あたり	340,895	348,856	347,738	342,006	341,388	354,518	362,758	365,382	367,696	369,335

傾向分析

歳出総額及び市民一人あたり額の26市平均は、歳入決算規模と同様に増加傾向にあります。

稲城市でも、歳入決算規模と同様に推移しており、普通建設事業の実施状況によって、年度によるバラつきが見られます。平成26年度は、南山小学校の建設事業を実施したため、大幅な増となりました。

平成30年度は、第三中学校校舎大規模改修や第一調理場建替移転事業の工事請負費、第一調理場用地買収費、国民健康保険事業特別会計繰出金の増などにより、前年度比2,298,179千円(7.3%)の増、市民一人あたり額22,264円(6.4%)の増となっています。

平成30年度決算26市比較データ 市民一人あたり額(抜粋)

No.1. 武蔵野市	434,080円
No.2. 福生市[類似市]	422,660円
No.4. 国立市[類似市]	407,647円
No.5. 清瀬市[類似市]	403,853円
No.14. 稲城市	370,384円
No.17. 東大和市[類似市]	361,754円
No.18. あきる野市[類似市]	361,719円
No.25. 狛江市	344,301円
No.26. 小平市	332,223円